



## 自然と共生する協働のまちづくり

福井県越前市長

奈良 俊幸

### 越前市の概要

越前市は福井県の中央部に位置し、平成17年10月1日に武生市と今立町が合併して誕生しました。人口は85,468人（平成23年9月1日現在）で、面積は約230km<sup>2</sup>です。

本市は、大化の改新の頃に越前国の国府が置かれて以来、北陸地方の政治・経済・文化の中心地として栄えました。平安時代には「源氏物語」の作者の紫式部が、越前国守となった父と共に旧武生で1年余りを過ごしており、源氏物語の中に「武生の国府」と記しています。

観光面では、「たけふ菊人形」が今年で60回目の開催となり、会場内の約1万鉢の菊花や菊人形などの造形物が見事で、北陸の秋の一大イベントとして毎年、多くの観光客で賑わっています。

名物の「越前そば」は旧武生が発祥の地であり、大根おろしとつゆだけのおろしそばが大変おいしいと評判で、市内には専門のそば屋がたくさんあります。

また、「白山スイカ」は昼夜間の温度差が激しい丘陵地で栽培されるため、糖度が高いことからブランド化しています。



## ものづくりのまち

本市は、昔から「ものづくり」が盛んな地域で、大陸から伝わった技術がこの地に根つき、現在も越前和紙、越前打刃物などの伝統的工芸品の産地となっています。

本市のものづくりの特徴は、品質の良さにあります。特に、旧今立の越前和紙は高級和紙として全国に知られており、平成23年度の天皇杯全日本サッカー選手権大会のポスター、賞状などにも使われます。

このような歴史・風土を踏まえ、近年は、最先端技術を駆使して製造される電子・自動車・家電部品産業やニットアパレル産業などが盛んで、県内第一位の工業製造品出荷額を誇る産業都市として発展し続けています。

本市では、ものづくりの一層の振興を図るため、平成17年度に「越前市産業活性化プラン」を策定（平成22年度に改定）し、研究開発から販路拡大、特許取得に至るまで一貫した企業への支援を行っています。

## 夢ある子どもの育成

本市の「人づくり」の取組みとしては、子どもたちの夢を育む教育を推進するため、平成21年度に財団法人日本サッカー協会と協定を結び、市内の全小中学校で年間60回の「夢の教室」を開催しています。

同協会からサッカーや他種目の現役選手、OB・OGを市内の全小中学校に「夢先生」として派遣していただき、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの素晴らしさなどについて、講義と実技を交えて指導していただいています。

また、子どもたちに「ものづくり」の重要性を学んでもらうため、市内の伝統産業や先端企業の協力のもと、小中学校で年間24回の「モノづくり出前講座」を実施しています。

子どもたちが各企業独自のものづくりに対する姿勢やノウハウなどを学ぶことで、ものづくりに対する創造力やチャレンジする意欲を育成するととも



に、市内の企業について理解を深める機会にもなっています。

### コウノトリが舞う里づくり

本市の西部地域には豊かな里地里山が残されており、希少野生生物も多く生息しているため、平成16年度に環境省の「里地里山保全再生モデル地域」に選定されました。

昨年は40年ぶりにコウノトリが飛来し、市内に107日間滞在したことから、市では名前を公募して「えっちゃん」と名付けました。

今後、西部地域では、コウノトリの放鳥定着に向けた福井・兵庫両県の共同研究も予定されています。

そこで、本市は平成22年度に、コウノトリが定着できる都市を目指して「コウノトリが舞う里づくり構想」を策定しました。

この構想では、①里地里山の保全再生と地産地消の推進、②西部地域で進められている環境調和型農業と保全活動の市全域への拡大、③環境学習や自然体験活動を通し命の尊さを学び、他地域との交流を進めることの3点を柱としています。

今後は、コウノトリを生物多様性や自然再生のシンボルに位置づけ、持続可能な社会づくりを通して「生きものと共生する越前市」を目指していきます。

### 市民との協働によるまちづくり

本市では、市民一人ひとりがまちづくりの一役を担い、自らが考え、自らが行動する住民自治を実現するため、平成16年度より「地域自治振興事業」をスタートさせました。

地域自治振興事業は、市内を17小学校区に分け、地区民の積極的な参加により、既存の組織の見直しを行いながら、実践機能や事務機能、監査機能を備えた「自治振興会」を組織し、それぞれの地区が自ら策定した「地域自治振興計画」に基づき、住民自治を進める事業です。



現在、各自治振興会は7～8つの専門部会を設け、年間平均1,000万円弱の事業費で30～50の協働事業を実践しています。

本市は、自治振興会と共に地域社会を支える当事者として、協働して地域自治を推進するとともに、市職員を地域支援員として配置するなどの支援を行っています。

## おわりに

本年3月11日の東日本大震災の発生以後、本市は多方面に渡って被災地の支援活動を続けています。

今後は、その活動を通して市民が共有した「絆」をまちづくりのテーマに、自然との共生をさらに重視し、長期的な視点から「人づくり、ものづくり、まちづくり」に取り組み、越前市の基盤をより一層強固なものにしていきたいと考えています。

(なら・としゆき)

## プロフィール

- ◆合併日：2005（平成17）年10月1日
  - ◆参加自治体：武生市、今立町
  - ◆面積：230.75 km<sup>2</sup>
  - ◆人口：85,468人
  - ◆キャッチフレーズ：古の歴史と文化が息づく…  
自然に恵まれたまち
- (平成23年9月1日現在)

